

# 小林人

こばやしびと  
Vol.35

林総合運動公園などで10キロから15キロ走っている。小林ランニングクラブにも所属し、週に一度は、その仲間とともに汗を流す。また毎年、小林からえびの高原まで走る過酷なト

昨年の大会で、延岡市の選手との接戦を繰り広げトップでタスキをつなぐ



駅伝のまち小林。優秀な選手が数多くいるこのまちで、勝負にこだわるストイックさと走ることを楽しむ姿勢から「ランナーたちの手本」と言われる人がいる。下津佐善文さん、58歳。宮崎県市町村対抗駅伝競走大会では、2区（50歳以上）の選手として3年連続出場。この区間は、50代前半を置くのが定石だが、たゆまぬ努力と実力でその座を保持している。優勝した昨年も、接戦の末、延岡市の選手を振り切り先頭でタスキをつないだ。「いい流れを作り、優勝に貢献できた。支えてくれた家族と一緒に練習してきた仲間、そして応援してくれた人たちに感謝している」と昨年を振り返る。練習は、週5、6回。小林総合運動公園などで10キロから15キロ走っている。小林ランニングクラブにも所属し、週に一度は、その仲間とともに汗を流す。また毎年、小林からえびの高原まで走る過酷なト

## 第4回宮崎県市町村対抗駅伝



日時：1月13日（月曜）  
10時スタート  
場所：宮崎市内（12区間 39.2キロ）

### 各区間の年齢基準と距離

区間	距離
1区（小学生男子）	1.8キロ
2区（50歳以上）	2.2キロ
3区（高校生）	5.0キロ
4区（40歳以上49歳以下）	2.6キロ
5区（中学生）	2.7キロ
6区（一般）	4.8キロ
7区（中学生）	3.4キロ
8区（小学生女子）	1.1キロ
9区（小学生男子）	1.5キロ
10区（一般）	7.4キロ
11区（小学生女子）	1.0キロ
12区（高校生）	5.7キロ

レーニングも欠かさない。年齢という大きな敵に打ち勝ち、成長し続けるためだ。その成果もあり、市町村対抗駅伝では毎年、自己記録を更新している。長年ともに走ってきた古園譲二さんは、「練習熱心で、20年以上、市の陸上界をけん引している選手」と誇らしげだ。走ることを愛する下津佐さんだが、長い競技生活の中で走れない苦悩の時期もあった。43歳のとき、2度の大手術を経験。術後は、「二度と走れないのでは」と不安な日々が続いた。し

かし、諦めの悪さが信条。身体と相談しながら練習を重ね、再びランナーとして返り咲いた。「今では楽しく走ることが出来る。やはり、私にはこれが一番向いている。身体を大切にし、生涯走り続けたい」と走る喜びをかみしめている。今年も出場する予定の市町村対抗駅伝は、一番大きな目標。「市の代表として力を出し切りチームに貢献したい」と意気込みを語る。1月13日、下津佐さんの快走とともに小林市の連覇に期待がかかる。



昨年の閉会式では、代表して優勝旗を授与され、金メダルを受け取った



身体を大切にし、  
楽しみながら  
生涯走り続けたい

宮崎県市町村対抗駅伝競走大会小林市代表として3年連続出場している

しもつさよしふみ  
**下津佐善文**さん(58)